

2026 年 8 月 5 日
能美防災株式会社

能美防災(株)妻沼東事業所敷地内における PFOS 及び PFOA の

検出に伴う対応について（第 5 報）

能美防災株式会社（本社：東京都千代田区九段南 4－7－3 代表取締役社長 長谷川雅弘）は、弊社 妻沼東事業所（埼玉県熊谷市妻沼 5058 番地）敷地内において実施した地下水調査の結果、敷地内の地下水及び排水から、ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）が環境省の指針値（PFOS 及び PFOA の合算値：50ng/L 以下）を超過する濃度で確認されたため、熊谷市に報告しました。

2026 年 4 月 22 日、熊谷市から「能美防災株式会社妻沼東事業所における PFOS および PFOA 等の検出について」の資料開示があり、当事業所周辺の住民の皆さまに対する周知および飲用指導と周辺井戸の水質調査を実施する旨が公表されました。現在、市職員による周辺井戸の利用状況調査及び水質調査が継続して実施されています。

5 月 27 日、熊谷市は、弊社・妻沼東事業所の地下水の下流側（主に南東側）に位置し、半径 500 メートル圏内かつ地下水の推定主流道方向±60 度の範囲に含まれる井戸の水質調査結果として、『能美防災株式会社妻沼東事業所の周辺井戸における水質調査結果について（第 2 回公表分）』を資料開示しました。

6 月 29 日、熊谷市より、「能美防災株式会社妻沼東事業所の周辺井戸における水質調査結果について（第 3 回公表分）」が資料開示されました。調査対象エリアにおいて水質調査を実施した 8 井戸のうち、7 井戸で国の指針値※1 を超過していることが判明しました。なお、上記 8 井戸のうち、飲用として使用されている井戸は確認されませんでした。

そして本日、8 月 5 日、熊谷市より、「能美防災株式会社妻沼東事業所の周辺井戸における水質調査結果について（第 4 回公表分）」が資料開示されました。調査対象エリアにおいて水質調査を実施した 26 井戸のうち、12 井戸が国の指針値※1 を超過していることが判明しました。また、飲用井戸（2 井戸）においても超過が確認されました。該当する家屋は、上水道が未接続であったため、当社の今後の対応として、代替水としてペットボトル(60 リットル分)を継続的に届けるとともに、上水道の接続工事を実施します。

熊谷市は、引き続き周辺各地区において井戸の調査を実施されとのことです。

6 月 12 日に実施した当社の調査において、事業所最終放流口の測定値が前回よりも上昇していたことを受け、原因と推測される雨水排水管および排水ピットに残留する PFAS の影

響も考慮し、雨水排水系統における個別地点の調査ならびに残留 PFAS の流出防止対策の強化についても検討しています。

※1 国の指針値

- ・PFOS 及び PFOA の合算値 50 ng/L 以下 (ng (ナノグラム)は 10 億分の 1 グラムを表す単位)
- ・指針値は、体重 50kg の人が水を一生涯にわたって毎日 2L 飲用したとしても、この濃度以下であれば人の健康に悪影響が生じないと推定されるレベル

【今後の対応について】

近隣住民の皆さまをはじめ関係各位には、ご心配をおかけしておりますこととお詫び申し上げます。弊社としましては、埼玉県及び熊谷市等の関係機関と協議のうえ、適切な対応を検討するとともに、今後の対応状況についても、適宜、弊社ホームページ等で速やかにお知らせいたします。お問い合わせについては、以下の窓口までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

能美防災株式会社 広報室

メール：mfe-info@nohmi.co.jp